

シンポジウム「考えよう！精神障害のある人の人権保障～入院に頼らない地域生活を支える資源とは」



精神保健福祉士 小村絹恵

“Aprire l’Istituzione non è aprire una porta, ma la nostra testa di fronte a “questo” malato”

diceva Franco Basaglia '79.

施設を開くとは、扉を開くことではなく、「この」病人の前で私たちの頭を開くことです。

1979年 フランコ・バザーリア

「1978年180号法が発布された5月13日に、カリアリの精神病院には、まだ900人以上の入院患者が存在していた。

1998年行政措置で閉じられ、障害の理由で、最後の患者たちを“施設送り”にした。このようなサルデーニャ州の精神病院閉鎖の過程を重視する必要がある。

国内の他の地域も同様だが、精神病院の知識や文化、組織体制の克服や批判的見直しによって変革されてこなかった。

つまり「法律のための閉鎖」だった。

これは、**しばしば精神保健サービス改革における精神病院論理の置き換えを引き起こす**」

(Giovanna Del Giudice)



精神的困難を抱えた人（時）が、街で暮らし続けられる社会？

* 「ここも、鍵がないだけで精神病院と一緒に…同じ人間ばかり集まって、いろんなサービスで守られて他に行く所なくて、ここに来るしかない」

（希望や将来が描けない）

* 「もう疲れました入院したい。安心できない」（不安↑症状↑）

◆地域移行とは、精神病院からの地域へ退院・移ること？

◆福祉という新しい形で、精神病院と同じ論理の管理が再生産される危険性から回避することを考えられてきたのか？

⇒ 負の側面を否定するだけでは、その存在理由に蓋をするだけで（考えない）別の形で生まれる（例：地域施設の精神病院化）

⇒ 強制的実践に代わる実践の構築のためには、その状況が起きる背景を理解し現状を見直す必要性がある。

「脱制度化」

精神病院を基盤とする科学的、立法的、文化的パラダイムの問題を議論にすることから始まり、全体性の中の人々の苦しみに向かわせる知識と資源の理論的/実践的プロセスのことをいう。 脱制度化の行程は、精神病院の終焉もひと区切りとするが、決してそれだけの意味では終わらない。

「脱病院化・脱施設化」

行政上・立法上の装置、収容のパラダイムを変えないまま、病院の病床削減、精神病院から患者を退院させるプロセス。

”La follia è una condizione umana-” Franco Basaglia.

狂気は、人間的状態のひとつ。

人間には、理性と同時に**狂気**がある。

異質な存在ではなく、同じ人間の中から生まれる、人間の**危機**

狂気は、深い苦しみの理由と共にある。

狂気は私たち一人一人の中にある。

精神的なコンディションを崩すことは

誰にでもあり、ごく自然なこと。



日本とイタリア（トリエステ）の精神医療は違うのか？

日本の精神科医も、トリエステの精神科医も根っこは同じ。

精神科医は、基本的に診断書を書く。カテゴリー化する。【人の選別・社会管理】
専門性の概念が違う。思考や視点の違いが、システムや実践の違いに。

日本	トリエステ
生物医学に傾倒している。（脳機能重視）	精神病を理解するのに終わりはない。 脆弱さ、ストレス、疲れ、身体…様々な要素の組み合わせだから、脳に限定するのはおかしい。
薬物療法ベース（原因は個人に）	深い苦しみに満ちた、いきづらい社会を治す。

生物医学的視点傾倒で、苦しみを人間の一つの状態ではなく、
単に身体機能の崩れによる異常という見方に制約するかぎり…

→ 薬で何度も修繕を繰り返し、病気の身体を変化させることを考える。

→ 薬を投与しても状態が変わらない時、失敗した時、非人間的で暴力的対応に至る。

精神病院とそれが生まれる構造への徹底的否定

狂気を閉じこめるため、精神病院が治療より監視の目的で定められた。

精神医学は、狂気を壊滅させること、締め付けること、閉じることで対処してきた。なぜなら、危険性のある人、理解不能で治療不可能とみなしてきたから。

危険なモノたちと見なされた人々を
→ “正常な人間”へ。

最終的には、すべてを管理された
無害な人々へ。

「多くの人にはひどい目に遭うのを恐れるから、それを避けるために**他者に無害である**ことを強調し、大人しい人間になる。自分でなくなる…」



病気、それ以上でもそれ以下でもない。
人でなくモノにする。**非人間化する場。**



“アッセンブレア” 主体性の返還

返還された（解放された）主体とは、とりわけ新しい主体。一般化した主体とは異なり、
どんな一般化も捨てた主体、それはつまり、創造されゆく豊かな主体。（P.A.Rovatti）

“*Rivoluzione culturale*”（文化の革命）

◆ “ノーマライゼーション”（正常化・普通化）は目指さない。

“精神障害者の人権問題”に落とし込まない。問題の本質を隠す。

社会や地域、家族に面倒かける人間を矯正・排除したいとする社会を変革

◆ 古い文化の制度を壊す

「精神病」の概念の転換。強制入院の意味合いの変革「社会的危険性」ではない（→義務的治療）

◆ 頭の中に精神病院がある

精神病院の構造はどこにでも簡単に生まれる（会話の中に、関係性の中に、実践の中に）

→ **対話** → “**思考を開く**”

「民主的でない、対等でない場はすでに精神病院であり、そこに精神保健は生まれない」

《《 **市民性・文化を高める** 》》

民主的で<差異>を認める寛容な社会が、全ての人が排除されない一番の予防策。

→ 排除をつくる制度、排除を生む文化を変革することで、
社会のシステム・思考を変えていく。

パラダイム転換

* 制度化

施設というのは、要求があれば同じように応える。

人を均一化・モノ化する。

(服が必要なら皆同じ)

・施設というのは、全てを保障するけどすべてを失わせる。

自分で解決する力…

「何もしなくていいよーゆっくりしてなよ」

「多くの薬で安静に問題なく過ごすのは誰？」

排除して人間扱いしない権力

人間を作りあげていく権力 M.フーコー

SONO SPETTINATA
VORREI PETTINARMI
PER PETTINARMI MI OCCORRE UN PETTINE
HO BISOGNO DI UN PETTINE
MA NON POSSIEDO UN PETTINE
HO DIRITTO A UN PETTINE
VOGLIO UN PETTINE!



* 脱制度化

・個別化というのは、人権の尊重。

制度の仕組み全てを変えたことにある。

その人その人に、組み立てる支援システム均一化を壊したことに意味がある。

・個人個人に合わせた支援を用意。

個人の治療、エンパワメントに必要。

(それぞれに合わせた服を縫うようなもの)

・個人に合わせたものを準備、そのためには、その人を知らなければならない、その関係性、生きてきた歴史を知らなければならない。対話が基本。

生物医学主義に基づく社会的危険性のパラダイムから脱制度化のパラダイムへ

《※いつでも制度化の実践に戻る。家族も支援者も社会も楽だから》

地域精神保健システムが生む権力性への注意

福祉という新しい形で、精神病院と同じ論理の管理が
再生産される危険性から回避

< 権力・不平等・管理はなくなるならない >

< 他者を支配したいという本質的な人間の衝動は自然に起きるもの >

Governare:

- ・ 他者のために行為する場を構造化する。制限を専門職スタッフにかける。
 - ・ 専門職自身の権力を使って場を創るが、それに批判的態度を取る。
 - ・ 支配を最小限にする。ゼロにはできない。 **支配はなくせない。**
 - ・ 他者に及ぼす支配・管理の自覚をしながら、自由の方向性に向かって動く。
-
- 専門職の持つ権力に圧力をかける：責任の分散・対話・多くの制限を持つ。
 - サービス内に雑多な人達と、雑多な関係性を置く。専門職・当事者二者の関係（権力）を崩す。
 - 壊す ⇔ 創る：ルーティーンを固定化させる〈制度化〉⇒ 変化・新しい事



バルコラ精神保健センター (365日 24h)
 各セクターの中核となる機関。何かあったらまずはここ。

- * 「関係性を作る」ことが仕事の中心(*un'équipe*)
- * ケアの継続性



Massimo の équipe



- ・店員・常連客
 - 友人・サポーター
 - 孤立回避
 - 理解広まる。

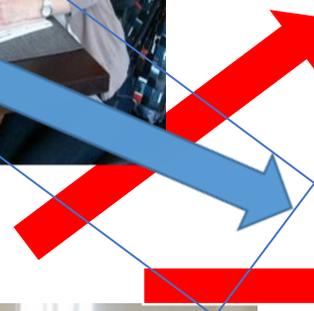
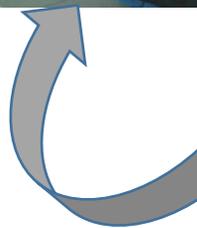
- ・店が駆けつけ場
 - サービスの枠外

街のセーフティネット
拡大

- *街で生きることは、
リスク・不安や苦労
の連続。
- *人生の根。
人間が生きる場。

何か新しい箱モノを作ることはない。地域の中ですでにあるものを活用・ネットワークをつくる。

un'équipe
支援チーム構築
↓
支援終了後も機能するように。



Preso in carico : 人生の文脈ごと支える

誰もが陥る人間の危機は、深い苦しみの理由と共にあり、関係性や環境、人生の文脈の中にある。どのようにこの苦しみが生まれているのかを探り、支える責任を担う。

サービスで囲い込まず、社会的な枠組みの中で統合！（街で暮らす人）
孤立させることなく、コミュニティとネットワークの関係で解決を図る！
（単に病院を閉鎖し、地域システムを構築する…ではない）



「なぜ精神保健センターばかりに通う？」

「私たちが制度化させてしまった…私たちの支援の失敗よ・・・」

「精神科のサービスから離せ！」 唯一の場所に通うしかないという状況を作らない。

街の市民として生きる道を探す。市民権を守る、創っていく…ことに終わりはない。

《依存・支配関係をつくらない…後戻りする、制度化に敏感であり繊細》





若者グループ



精神的問題に苦しむ患者家族の会



バザーリア協会

多様で無数にある
アソシエーション

バザーリア協議会【国際的
精神保健への改善に向けて】



アルティコロ32

誰もが主人公～
市民グループ



人間的な場
人間的な関係
を創る。



サマルカンダ:サッカー

改革の中で生まれた、もうひとつの発明

1972年、約60人の「労働者協同組合連合」の設立

“作業療法”への完全否定 ← 「効率的な再商品化」の就労支援の否定
(精神病院の存在理由と同じ事だから)



社会的協同組合

作業療法の
絶対的否定

市民権の
具体的行使

金銭的管理
からの解放

文化の
醸成

○新しい文化の創造

*生産性重視「市場の論理」の否定

*発明を伴う、当事者の参加を
生み出す。

*人を仕事に合わせるのではなく、
仕事を人に合わせる。

*人間発達に寄り添う仕事おこし。

↓↓↓

“労働”という意味の問い直し

彼らの実践と思考

“みんなちがう、だから話しあわないとわからない”

「精神保健の分野に正しい実践などない。素晴らしいモデルなんて世界中どこにもない！ 完璧な実践もない」

- * ひとりひとり1から考える。技術に依存したら間違える。麻薬と一緒に。
- * 技術や施設は、人を一般化・モノ化する。
- * 普通を目指さない【専門家も社会も普通・道徳を矯正したがる】
- * 当事者の世界の理解：共通のモノを構築していく過程の連続。

人間的感覚・実践を維持するため、
本当に大切なことを見失わないため、
専門知識・技術に依存しないため…

民主的に仲間と考え、対話し続ける。
信頼関係、共同責任、共感的風土。

大事なものはテクニックでも
モデルでもない！
信頼できる仲間 批判できる関係

Non smettere di pensare!!

決して考えることをやめない。

Non smettere di dialogo!!

決して対話をやめない。

創造性ある実践の営み



180号法制定から40年後も…

改革の歩みは終わらない、今も脱制度化の渦中…

どこの社会にも権力や差別意識はあり、なくならない。

時代に応じて問題も変わる。

留まること、型にはまることは停滞し、簡単に後戻りする。

変化し続けなければならない。

強制的実践をしないということは、リスクも引き受けるという事。

専門職者間の議論には限界がある。

市民社会全体の合意形成が必要。

市民を巻き込んだ議論へ





狂気は多様性、
あるいは多様性を
恐れることです。

Franco Basaglia

他者を「縛る」実践は、私たちに全てを問い直させる。

脆弱さ、病気、老い、不平等…私たち誰もが持つその苦しみに“縛る”で応える実践・社会の中、それに対してNoと言えない、言っても“治療”の名で沈黙させられる。

《私たち全体の自由・権利・民主主義が揺らいている》

Giovanna Del Giudice

「危険性・理解不能・未完治のパラダイム」

これらが議論されてこなかった場所や時代で、精神的困難を抱える人への差別、深刻な人権侵害の被害を生んでいる。

Giovanna Del Giudice

◆個人・社会の内側から生まれる**恐怖心**。 恐怖と管理

- * 解らない、不確かなものは、思うようにならない、心が不安定になる。
- * 自分の中で解決（理解）できない時、不安・恐れを感じる。
- * 専門職（親や周囲）にとって、対応しきれない自分に能力が無いと悟られる。責任の所在。

不安を感じる ⇒ 相手に危険を感じ ⇒ 自身の中に恐怖心を持つ

→ → → **危険性の管理・制圧（強制的実践の源泉、排除につながっていく）**

◆不確かな制御できない負の部分を、あってはならない事だとし、抑え込み、 隠しておくべき感情とする。⇒ いつか爆発する。

- * 相手に対する攻撃性・憎しみを持ってしまう自分を認めた上で、その背後にある自分の弱さや脆さを封じるのではなく、どうしてそう感じるのか考える。
- * なぜ他者の弱さや負の感情に脅かされるのか、私の何が脅かされているのか。

【こころの揺らぎに向き合う... 反動的な感情に支配されない。 **個人や社会を暴走させない装置**】